

(公社) 日本放射線技術学会 第 65 回近畿支部学術大会

シンポジウム I :

『探求の道 Lead Clearly ～モダリティスペシャリストからの提言～』

「学術活動の楽しみ方」

神戸大学医学部附属病院 谷 和紀子

患者さんとその画像に日々向き合う中で、撮影に関する疑問をふと感じたことはないだろうか。この画像はノイズが多くなってしまったが、原因は何だろうか？改善策はどうすればいいのだろうか？造影検査のタイミングは本当にこれが最適なのだろうか？等、本当に些細なことで構わない。私の場合、そのような疑問を解決するために論文を読み漁ったり、実際に実験してみたり、学会や勉強会に参加し講演を聞いたり、それでも分からなければその分野に詳しい人に直接聞いたりする。その疑問に新規性があれば、それは私にとっての「研究」なのである。

本シンポジウムでは、「探求の道」というテーマで、各分野の方々が研究についての講演を行い、その後討論を行う。私は僭越ながら「CT」を中心にお話をさせていただく。このシンポジウムが多くの方々の研究のモチベーションにつながれば幸いである。